

No.42(一九七九年一月一・二日合併号)から

No.76(一九七九年二月二一日)まで

No.42(一九七九年一月一・二日合併号)

◇巻頭言◇社会党は社会革命の党

われら、なにをなすべきか — 現情勢と組織づくり —

大内力氏の新「社会主義」論批判① — 「宇野理論」の自己否定? —

「中期経済政策」の経営参加論批判

— 西ドイツにおける「共同決定」の実態 —

マルクス・レーニン主義とは何か(二六)

社会主義革命の根本問題 — 「構造改革論」と社会党の課題① —

増刊号好評発売中◇定価四〇〇円

社会党『中期経済政策(第一次試案)』批判の決定版!

No.43(一九七九年一月二一日)

◇巻頭言◇「賃金問題研究委報告」の意味するもの

「中期経済政策」の基本問題

国際情勢への基本視点

社会党の現情と第四三回党大会について

「自由」な資本主義、永遠なれ?!

— 大内力氏の新「社会主義」論批判② —

◇増刊号好評発売中◇定価四〇〇円

社会党『中期経済政策(第一次試案)』批判の決定版!

No.44(一九七九年二月一日)

巻頭言◇DDR建国三〇年の歴史にまなぶ

カンボジア問題をどうみるか①

政党になった(?)千葉県労連

役員は告示期間中だけの運動ではない — 京成労組役員に現われた介入策動 —

◇投稿◇社会党『中期経済政策』を考える

◇資料と解説◇ 沖電気の指名解雇の意味するもの

資料①沖電気指名解雇撤回の訴訟をおこすにあたって

資料②反合理化闘争を終わって(沖電気委員長樋口敏)

◇マルクス・レーニン主義とは何か(二七) ◇

改良主義者は階級対立を忘れている! — 「構造改革論」と社会党の課題② —

◇増刊号好評発売中◇定価四〇〇円

社会党『中期経済政策(第一次試案)』批判の決定版!

No.45(一九七九年二月一日)

◇巻頭言◇経済相互援助会議の三〇周年

◇岩井章氏にきく①◇

七九春闘への基本視点

日本資本主義は「危機」にたっているか

エンゲルスの基本矛盾は

「イデオロギー的偏見」か?!

―大内力氏の新「社会主義」論批判③―

◇資料と解説◇

全通反マル生闘争について

資料全通第七二回臨時中央委議案

反マル生闘争の中間総括と

今後のたたかい方

ポル・ポト政権による大虐殺

―カンボジア問題をどうみるか②―

◇号外発行のお知らせ◇

No.46(一九七九年二月二日)

◇巻頭言◇キューバ革命二〇周年

社会党第四三回大会と「中期経済政策」

◇岩井章氏にきく②◇

七九春闘への基本視点

◇投稿・福島からの報告◇

県本部の「統一」問題について①

―「止揚」すべきは大内理論の「内在矛盾」

―大内力氏の新「社会主義」論批判④

長期闘争への構えを明らかにした

全通臨時中央委

資料全通と組合員をひぼう、

中傷(新見事務局長の年頭挨拶)

職場からの共闘を強めよう!

―郵政マル生を許すな―

マルクスレーニン主義とは何か(二八)◇

反合理化闘争が統一戦線の土台

―「構造改革論」と社会党の課題④―

◇緊急号外・二月中旬発行◇予価四〇〇円

階級的労働運動の原点―不況・赤字攻撃とどうたたかうか

No.47(一九七九年三月一日)

◇巻頭言◇反撃の好機・その条件

反独占の視点で補強、だが迫力を欠く

―社会党第四三回大会

運動方針小委員会討論―

注目集める全電通労組の動向

七九春闘をかくたたかう

―昭電の仲間からの報告①―

「止揚」すべきは大内理論の「内在矛盾」②

―大内力氏の新「社会主義」論批判⑥―

◇マルクス・レーニン主義とは何か(二九)

「窮乏化」法則と労働者階級

―「構造的革論」と社会党の課題⑤―

読者からのたより

◇緊急号外・二月中旬発行◇予価四〇〇円

階級的労働運動の原点―

不況・赤字攻撃とどうたたかうか

No.48(一九七九年三月一日)

◇巻頭言◇中国はベトナムから手を引け

反合理化闘争路線再構築のために①

拡がった全通労働者の団結

―反マル生闘争をたたかかって―

統一自治体選挙への基本視点

第二基本給を撤回させた!

―相模鉄道労組のたたかいと教訓―

◇マルクス・レーニン主義とは何か(三〇)

「窮乏化」法則と労働者階級(二)

―「構造改造論」と社会党の課題⑥―

本誌拡大のおねがい

読者からのたより

◇緊急号外・好評発売中◇定価四〇〇円階級的労働運動の原点―

不況・赤字攻撃とどうたたかうか

No.49(一九七九年三月二一日)

◇巻頭言◇『減量経営の貫徹』と反省

明確になった協会攻撃の真のねらい

―反合理化闘争路線再構築のために②―

“人民資本主義”論の新変種

―大内力氏の“新社会主義”論批判(七)

ベトナムの平和を破壊する中国

◇グエン・ザップベトナム大使にきく◇

中国の侵略は世界平和への脅威

七九春闘をかくたたかう

―昭和電工の仲間からの報告②

本誌拡大のおねがい

◇緊急号外・好評発売中◇定価四〇〇円

階級的労働運動の原点―

不況・赤字攻撃とどうたたかうか

No.50(一九七九年四月一日)

◇巻頭言◇成田前委員長の急逝を悼む

階級闘争の焦点は思想闘争だ

―反合理化闘争路線再構築のために③―

“人民資本主義”論の新種②

―大内力の新“社会主義”論批判(八)

◇投稿◇社会主義政党と労働組合

イラン情勢理解のために

正義の事業への支援

―カストロ・キューバ首相の発言―

七九春闘方針きまる

本誌拡大のおねがい

◇緊急号外・好評発売中◇定価四〇〇円

階級的労働運動の原点―

不況・赤字攻撃とどうたたかうか

No.51(一九七九年四月一日)

◇巻頭言◇統一地方選挙の争点は何か

悔を千載に残す? 「日中共同声明」と「日中条約」

―衆院予算委員会で石橋政嗣氏が質問―

誰が東南アジアで膨張政策を実行しているか

労働戦線統一の触媒的役割を強調

―全国労働組合総連合結成大会開く―

わが国に資本家階級はいない?

―「人民資本主義」論の新変種③―

◇マルクス・レーニン主義とは何か(三一)「経営参加」「政策」について

―「構造改革論」と社会党の課題(七)本誌拡大のおねがい

◇緊急号外・好評発売中◇定価四〇〇円

階級的労働運動の原点―

不況・赤字攻撃とどうたたかうか

No.52(一九七九年四月二日)

◇巻頭言◇「反安保」の骨ぬきをはかる『しんろ』

◇座談会◇

宮川睦男氏(元三池労組組合長)を偲ぶ

(出席者)

向坂逸郎(元九大教授)

塚元敦義(元三池労組書記長)

灰原茂雄(元三池労組書記長)

◇資料と解説◇

「原子力計画はただちに中止せよ」

―米・原発事故で社会党が「申し入れ」―

資料 米・原発事故についての「申し入れ」

マル生・八万人合理化の嵐に抗して 岩井章

読者からのたより

本誌拡大のおねがい

◇緊急号外・好評発売中◇定価四〇〇円

階級的労働運動の原点―

不況・赤字攻撃とどうたたかうか

No.53(一九七九年五月一日)

◇巻頭言◇統一地方選前半の結果から

反合理化闘争放棄の「経済民主主義」路線

―反合理化闘争路線の再構築のために―

「七九春闘」の推移をみる

資料①日経連・現下の経済情勢についての見解

資料②労使関係を配慮(小松新日鉄常務の談話)

日東タイヤ(神奈川)でも

八名が実質的指名解雇

―活動家排除が資本のカマエ―

労働組合主義が全電通の基本路線

―『中央公論』四月号で及川委員長が発言全通反マル生闘争に大弾圧?―

―百四十名が免職・解雇の対象―

編集部からのおしらせ

◇緊急号外・好評発売中◇定価四〇〇円

階級的労働運動の原点―

不況・赤字攻撃とどうたたかうか

No.54(一九七九年五月一日)

◇巻頭言◇全通への弾圧の意味するもの

「統一」ではなく、労働組織の分裂と再編

―労働戦線再編統一論の意味するもの―

全電通・千葉闘争の教訓①

―反合理化闘争路線再構築のために―

労働基準法改悪の背景と問題点

松陰先生と青年労働者

本誌拡大のおねがい

◇緊急号外・好評発売中◇定価四〇〇円

階級的労働運動の原点―

不況・赤字攻撃とどうたたかうか

No.55(一九七九年五月二一日)

◇巻頭言◇七九春闘総括への基本視点

「保守・中道の勝利」は正しい見方?

―統一地方選挙結果の意味するもの―

SSK(佐世保重工業)「労愛会」にクサビ

―佐世保市における統一

地方選のたたかいから―

資料富山市長選報告

たたかいとつた九万二千票①

組合機関への信頼と組合民主主義が生命

―全電通・千葉闘争の教訓二―

ベトナム人民は勝利する

―人民軍参謀総長との一問一答―

資料同盟、「総連合」への見解を発表

◇緊急号外・好評発売中◇

階級的労働運動の原点―定価四〇〇円

不況・赤字攻撃とどうたたかうか

No.56(一九七九年六月一日)

◇巻頭言◇日経連の七九春闘総括

統一戦線運動の発展のために

◇石橋政嗣氏に聞く◇

全野党共闘路線は統一戦線の別名

◇投稿◇労働者階級の組織と実態は前進

各党の選挙総括をみる

―統一地方選挙結果の意味するもの②―

資料富山市長選報告②

たたかいとつた九万二千票

数字がしめす首切り、即利潤の拡大

沖電気の仲間がパンフ第二集を発行

◇緊急号外・好評発売中◇定価四〇〇円

階級的労働運動の原点―

不況・赤字攻撃とどうたたかうか

No.57(一九七九年六月一日)

特集・「一党支持見直し」の提言を論ず

◇巻頭言◇社会主義政党和労働組合

総評の社会党支持解消は敵前武装解除だ!

階級的労働運動の自覚と気迫が欠除

―総評「労働戦線統一についての問題提起」を論ず―

「社会党一党支持見直し」に強い批判―総評第四回拡大評議員会の報告―

資料①社会党との新たな協力関係への提言(全文)

資料②拡大評議員会での榎枝議長あいさつ

資料③総評・労働戦線統一についての問題提起

緊急号外・階級的労働運動の原点」紹介

◇編集部だより◇

◇緊急号外・好評発売中◇定価四〇〇円

階級的労働運動の原点―不況・赤字攻撃とどうたたかうか

No.58(一九七九年六月二一日)

◇巻頭言◇闘争路線の再確立を急ごう

岩井章氏に聞く◇労働統一問題への基本視点

全通反マル生闘争と八〇年代運動―職場からの統一闘争を―

「春闘見直し」論と「選別支持」の背景

―全電通・千葉闘争の教訓③―

イギリス保守党の勝利の背景とゆくえ

◇緊急号外・好評発売中◇定価四〇〇円

階級的労働運動の原点―

不況・赤字攻撃とどうたたかうか

No.59(一九七九年七月一日)

◇巻頭言◇職場総点検と統一闘争の強化

◇向坂逸郎氏に聞く◇

組織は労働者にとってリカリである

いよいよはっきりした独占資本のネライ

―七九春闘の総括をどう考えるか―

◇投稿◇思想統一が社会党前進のかぎ

―福島県における地方選結果から―

京成闘争の背景とその経過

反マル生闘争下の全通の動向

◇緊急号外・好評発売中◇定価四〇〇円

階級的労働運動の原点―不況・赤字攻撃とどうたたかうか

No.60(一九七九年七月一日)

反合理化闘争の再生を望む―国労第四一回全国大会方針を読む―
「希望退職」を撤回させた!

―第二次京成闘争の背景とたたかひの報告「社会主義の貧困」か、
「貧困な社会主義」か―『月刊総評』の新田論文を論ず―
いわゆる「ベトナム難民」問題について

原稿募集のおねがい
本誌拡大のおねがい

◇緊急号外・好評発売中◇定価四〇〇円
階級的労働運動の原点―不況・赤字攻撃とどうたたかうか

No.61(一九七九年七月二日)

反合理化闘争の強化が急務―七九春闘総括の視点について―
総評・七九年度運動方針を読んで
インドシナ難民問題の根源

コメコン総会と東京サミット

◇マルクス・レーニン主義とは何か(三三)

構造改革論の改良主義的性格①―当面する労働者階級の任務は何か―
編集部からのおねがい

◇緊急号外・好評発売中◇定価四〇〇円

階級的労働運動の原点―

不況・赤字攻撃とどうたたかうか

No.62(一九七九年八月一日)

東京サミットの政治的、経済的意味

石油の諸問題と「エネルギー危機」

◇投稿◇科学と教条のスリカエ

―『月刊総評』の新田論文を読んで―

資料社会党「五人委員会」への提言

―社会党労働政策委員会・社会保障政策委員会合同会議―

◇マルクス・レーニン主義とは何か(三三)

改良主義はくり返しあらわれる

―『構造改革論と改良主義的性格』②―

ソ連における一部商品の国家小売価格の引き上げについて

◇緊急号外・好評発売中◇定価四〇〇円

階級的労働運動の原点―

不況・赤字攻撃とどうたたかうか

No.63(一九七九年八月一日)

- ◇巻頭言◇労働組合と文化闘争
社会党といわゆる「八〇年代」構想
総評七九年度運動方針案の問題点②
参加体制で総合生活闘争を推進?—電機労連第二七回大会報告—
国鉄、七万人要員削減を公表
資料国鉄再建の基本構想案(全文)
前進する沖電気の仲間のたたかい
- ◇緊急号外・好評発売中◇定価四〇〇円
階級的労働運動の原点—
不況・赤字攻撃とどうたたかうか

No.64(一九七九年八月二一日)

- ◇巻頭言◇組合大会を傍聴して
「企一、二号」の実践、定着が課題—全通第三二回大会報告—
七〇年代労働運動の総括を欠く—総評七九年度運動方針案の問題点—
ニカラグア情勢理解のために
—ニカラグアにおける階級闘争とその歴史①—
- ◇資料と解説◇
労戦統一についての同盟の見解
資料労働戦線統一の今日的意義と
同盟の方針について
- ◇緊急号外・好評発売中◇定価四〇〇円
階級的労働運動の原点—不況・赤字攻撃とどうたたかうか

No.65(一九七九年九月一日)

- ◇巻頭言◇なにをなすべきか
ともに悩み、考え、たたかおう—国労第四一回全国大会報告①—
春闘、合理化闘争の再構築が課題
—全電通第三二回大会方針案を読んで—
—合理化闘争否定の「参加」路線
—総評新運動方針案の問題点③—
勝利したサンディニスタ解放戦線
—ニカラグア情勢の理解のため②—
労働者自主管理研究会議が『道』批判
- ◇緊急号外・好評発売中◇定価四〇〇円
階級的労働運動の原点—不況・赤字攻撃とどうたたかうか

No.66(一九七九年九月二一日)

社会党の「民社党」化がその本質

―労働者自主管理研究会議「報告」の意味するもの―

「中道」をめぐるのはげしい綱引き―現政局への基本視点―

新運動方針案に批判ととまどい―総評第五九回定期大会報告―

理論学者と交流から強い団結へ―靴労働者のたたかいとその課題―

◇緊急号外・好評発売中◇定価四〇〇円

階級的労働運動の原点―不況・赤字攻撃とどうたたかうか

No.67(一九七九年九月二一日)

◇巻頭言◇批判の自由と行動の統一

だれがだれを海から脅かしているか―ソ連の脅威の神話について―

原則をふまえることが一番の近道―私鉄総連第四三回定期大会報告―

プロレタリアート独裁の理論が

マルクス主義の核心―労大創立二五周年集会で向坂氏語る―

「財政再建」を口実とする赤字攻撃が選挙の争点③

―大平首相の所信表明演説を読んで―

「教条」を知らずして、「教条」を論ずるな

―『構造改革論と改良主義的性格』③―

緊急号外(九月末発行)内容紹介

マルクス主義学説の擁護(仮題)―労働者自主管理研究会「報告」批判

No.68(一九七九年一〇月一日)

◇巻頭言◇ヤミ給与とカラ出張

現代のドン・キホーテ―馬場宏二氏の頭脳の「窮乏化」―

「労使協力」が景気回復の主要因

―七九年版「日本の労働経済事情」(日経連)から―

▽向坂逸郎著『労働者とともに』を読んで△

現在の労働運動を考える絶好の書

◇マルクス・レーニン主義とは何か(三六)

社会主義政党と「政策」

―『構造改革論と改良主義的性格』四―

◇トライ・アンド・エラー①

思想界の「難民」

緊急号外発行のお知らせ

「道」批判者たちへの反批判発行の

No.69(一九七九年一〇月二一日)

巻頭言◇プロレタリアート独裁と職場闘争

◇向坂逸郎氏に聞く◇ マルクス・レーニン主義とは何か

大内力君はマルクス主義者ではない／改良主義の二つの傾向／資本主義の基本矛盾／自由と必然／古いことをいう大内君／「窮乏化法則」について／「窮乏化法則」と社会主義ユーロコムユズムはミニスカートみたいなもの／「プロ独裁」とブルジョアジー／「プロ独裁」は階級闘争の必然的結果

「中産階級化」という名の思想攻撃

資料高沢寅男氏(東京五区) 非推せんの経過と全電通の対応

緊急号外発行もお知らせ(一〇月一日発行)

『道』批判者たちへの反批判』発行の

No.70(一九七九年一〇月二一日)

◇巻頭言◇総選挙の結果をみる

なぜ社会党を支持して選挙闘争を闘うのか―新潟における青年選対の活動から―
たたかう仲間が多勢いる！ ―第七回権利問題研究会全国討論集会に参加して―
デッチ上げの「キューバ問題」

新田教授が社民連候補を推せん

◇トライ・アンド・エラー―②

革新が試される

資料①総評脱退を準備(鉄鋼労連の労戦統一方針)

資料②年内に統一準備会を発足

(ゼンセン同盟の労戦統一方針)

◇緊急号外・好評発売中◇定価五〇〇円

『道』批判者たちへの反批判―

『道』と科学的社会主義の擁護

No.71(一九七九年十一月二一日)

◇巻頭言◇マスコミのうそ

「燃立つような論争」なくして党の前進はない

資本蓄積の一般的法則の貫徹を実証―第三五回総選挙結果の意味するもの―
非同盟運動は「世界政治の有力な要素」

―第六回非同盟諸国首脳会議の成果―

職場の仲間は「たたかう社会党」を求めている

沖の仲間が統一争議団を形成

◇緊急号外・好評発売中◇定価五〇〇円

『道』批判者たちへの反批判―

『道』と科学的社会主義の擁護

No.72(一九七九年一月一日)

◇巻頭言◇階級闘争と商業ジャーナリズム

自民リ敗北リの宣伝と真のネライ

―第三五回総選挙と社会党の教訓―

政権擁護の体制(プロ独)なくして社会主義は実現しない

―ホルンスト・ブラッシュユ氏の講演から―

「左」右のドン・キホーテと統一戦線

飛鳥田委員長当選の原動力

―労働者の組織された力―

党・労組の右傾化に反撃しよう!

―東京五区のたたかひの経験―

◇緊急号外・好評発売中◇定価五〇〇円

『道』批判者たちへの反批判―

『道』と科学的社会主義の擁護

No.73(一九七九年一月二二日)

沖電気が統一争議団を結成

―秦・板橋両氏にきく―

公明党との共闘の条件

―第三五回総選挙と社会党の教訓②―

ペテンで塗られた

「昭和五三年度国鉄監査報告書」危機感が議席を守る

―千葉県一区のたたかひの報告―

労働者党としての思想性の確立が課題

―大阪での選挙結果からの教訓―

カンボジアの飢えは誰のせいか

読者からのたより

◇緊急号外・好評発売中◇定価五〇〇円

『道』批判者たちへの反批判―

『道』と科学的社会主義の擁護

No.74(一九七九年二月一日)

大衆の先頭に

―第三五回総選挙と社会党の教訓③

総評運動の最近の傾向

―資本とたたかうことが労働運動の第一歩―

いわゆる「ヤミ給与」攻撃のなかで

―「ヤミ給与」問題への社会党千葉県本部の態度―

資料カラ超勤問題への政労協の声明

政府の悪辣な賃金切り下げ攻撃に反撃を

本部原案をめぐり激論

―全通第七四回中央委員会から―

◇トライアル・アンド・エラー③

〃忍々の一字、の中味を

職場の機関誌紙から

◇緊急号外・好評発売中◇定価五〇〇円

『道』批判者たちへの反批判―

『道』と科学的社会主義の擁護

No.75(一九七九年二月一日)

名実ともに首切り反対を!

―第三五回総選挙と社会党の教訓④―

―「首切り」の放任につながる(?)

鉄鋼五社回答

―「六〇歳定年延長」の意味するもの―

資料①鉄鋼五社回答(全文)

組合民主主義が問われている!

―全電通福島県支部の

再確認問題について―

資料②全電通東北地方本部闘争連絡第一号

社・公の選挙協力と「政権構想」

―自民の排除こそ不可欠―

地区労代表者から自信にみちた発言

―総評「地域労働運動を強めるための全国集会」報告―

「労基法改悪」問題に思う

◇緊急号外・好評発売中◇

『道』批判者たちへの反批判―

『道』と科学的社会主義の擁護

No.76(一九七九年二月二一日)

労働運動と政治闘争

―第三五回総選挙と社会党の教訓⑤

総評労働運動と共産党の十中総

資料統一労組懇世話人組合の呼びかけ

朝鮮その後―朴大統領射殺事件と大衆―

配転攻撃を考える

―日東タイヤの仲間の一総括―

統一はたたかいとるもの

―沖電気一周年集會に千六百名―

資料②集會決議

◇資料と解説◇全電通福県支部問題について

◇資料③分会役員への「誓約書」

◇トライアル・アンド・エラー④

富さんと有珠山

◇緊急号外・好評発売中◇定価五〇〇円

『道』批判者たちへの反批判―

『道』と科学的社会主義の擁護